

発表!

2016年度前期貸出ランキング〈3階一般編〉

2016.9.9調べ

タイトル	請求記号
1 『告白』 湊かなえ	913.6/Mi39
2 『TOEICテスト公式問題集：新形式問題対応編』 Educational Testing Service	830.79/E24
『レインツリーの国』 有川浩	913.6/A71
3 『公務員試験速攻の時事：教養・専門のあらゆる科目に対応!：平成28年度試験完全対応【本編】』	317.4/Sh33
『TOEICテスト新公式問題集 Vol.6』 Educational Testing Service	830.79/To19
『嫌われる勇氣：自己啓発の源流「アドラー」の教え』 岸見一郎、古賀史健	146.1/Ki58
『TOEICテスト新公式問題集 Vol.2』 Educational Testing Service	830.79/To19
4 『夜は短し歩けよ乙女』 森見登美彦	913.6/Mo54
『世界でもっとも貧しい大統領ホセ・ムヒカ言葉』 佐藤美由紀	289.3/Mu22
『ハリー・ポッターと賢者の石』 J.K. ローリング	933/R78
5 『植物図鑑』 有川浩	913.6/A71
『少女』『夜行観覧車』『望郷』 湊かなえ	913.6/Mi39
『世界から猫が消えたなら』 川村元気	913.6/Ka95

リレーコラム ブックマークする?!

Night Library!?

みなさん、図書館は夜何時まで開館しているか知っていますか? 平日は図書館、自由閲覧室ともに夜9時半まで開いています。え、そんなに遅くまで開いてるんだ、と思われたかもしれませんね。

学生さんでにぎわう昼間とは異なり、夜間はとても静かでゆったり過ごせます。夜7時以降は、個室・グループ学習室とにもその場で利用可能なことが多く、じっくりと集中して勉強、読書をしたい方におススメですよ。AVコーナーも、気になるDVDを心置きなく楽しむことができます。CDコーナーで好きな音楽をくつろぎながら聴くことができるのも夜間ならではの魅力ですね。

気さくな4名のスタッフがみなさんの快適な図書館利用のお手伝いをしますので、ぜひこの機会に魅力いっぱい夜間の図書館に足を運んでみませんか?

みなさんにお会いできることを、スタッフ一同、心より楽しみにしています。

(八木)



編集後記

BOOKMARK 編集部のお言葉♡

4月に新たに発足したBOOKMARK編集部。まずは、創刊号の内容を活かすつ各ページの内容と担当割り話し合い。(特集は?エッセイは?豆知識は?なかなかこの内容決めが難しいです。)ようやく内容が決まりカメラ片手に取材開始! 創刊号の反響もあり、みなさん快く応じてくれました。そして何度かミーティングを重ねていくうちに、「BOOKMARKミーティング開催します〜」って長いな〜。いや、そんなに長くはないけど(笑)。そんなこんなで編集部の合言葉ができました。



図書館(2階・3階)開館時間

	授業期	休暇時
平日	8:45 ~ 21:30	9:15 ~ 16:30
土曜日	9:15 ~ 16:30	9:15 ~ 12:30
日曜日	10:00 ~ 16:00	休館

表紙モデル：商学部 増原 芽生・松島 千夏

発行・編集：広島修道大学図書館 発行日：2016年10月1日

〒731-3195 広島市安佐南区大塚東一丁目1-1
TEL：082-830-1112 FAX：082-830-1964
URL：http://www.shudo-u.ac.jp/library/
E-mail：tosh@js.shudo-u.ac.jp

次号は
2017年
4月1日
発行予定です

ここから
図書館の
ホームページへ
アクセス
できます



あなたと図書館をつなぐ情報誌

BOOKMARK

Library Newsが
リニューアル!
第2号

2016/10/1

[ブックマーク] TAKE FREE



CONTENTS

特集

2 ピッ! 図書館へようこそ! 2

図書館で雑誌を利用してみよう! 編

特集2

4 アイから広がる図書館づくり

図書館ピアの活動紹介!

連載

6 Kyouは何しに図書館へ?

8 この本にブックマーク!
みんなで楽しむ はじめての読書会

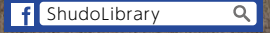
10 イベントブックマーク
今、展示コーナーが熱い イベント3連続!

12 教員エッセイ…松川太一

14 職員エッセイ…近本圭介

16 ランキング/リレーコラム/編集後記

フェイスブック始めました!



図書館へようこそ!②

Welcome to Shudo Library!

学生証

図書館で雑誌を利用してみよう!編

“雑誌”と聞くと『週刊少年ジャンプ』や『non・no』などを思い浮かべる人が多いかもしれませんが。実は図書館にはレポートや論文に利用できる雑誌があるのです! 図書館の雑誌で最新情報を手に入れて課題や卒論をレベルアップしましょう!

ポイント1

図書館には軽雑誌と学術雑誌の2種類がある!

30誌あります!

軽雑誌

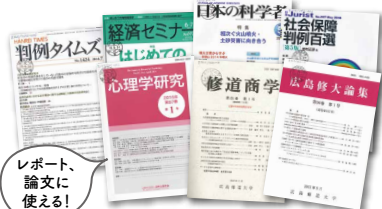
実用性・娯楽性が高い雑誌です。休憩時間や勉強に疲れた時の息抜きに利用してください。一部は保管期間が過ぎると配布しています。



約790誌を継続受入中!

学術雑誌 (紀要を含む)

研究者の成果発表の場で査読と呼ばれる審査を受けているものが多いため信頼性が高く、その分野の最新の情報を知ることができます。大学や学会などが発行している雑誌を特に紀要と言います。

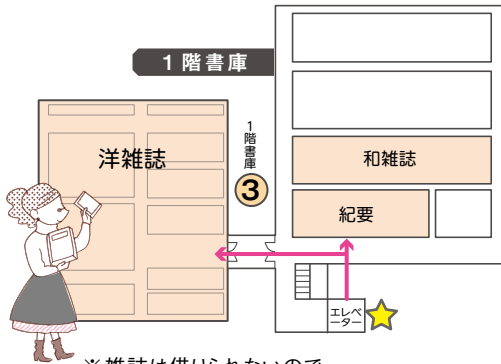
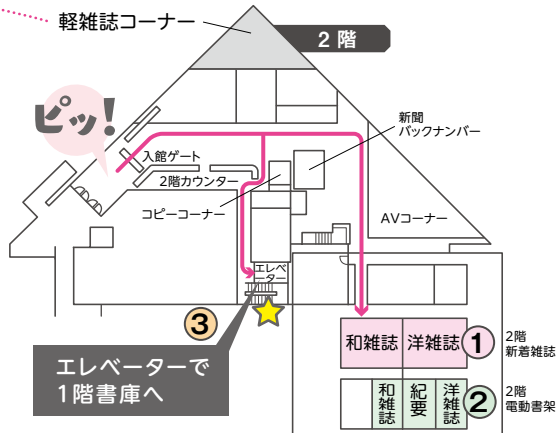


※冊子体以外に電子ジャーナルも利用できます。

ポイント2

学術雑誌の配架場所は3ヶ所!

- ①2階新着雑誌
- ②2階電動書架
- ③1階書庫



※雑誌は借りられないのでコピーをして利用してください。



そもそも雑誌ってなに?

同じタイトルで継続して刊行される資料を雑誌といいます。複数の記事や論文で構成されており、図書に比べてタイムリーな話題や最新の情報を得るのに適しています。雑誌には巻号や年月次がついています。



5分で雑誌にたどりつける!

ポイント3

OPAC 検索3つのツボ



教員になりたい!

2016年の『教職課程』42巻13号に教員志望者のためのQ&Aが出ているらしいから読んでみたいいな... まずはOPACで検索しよう

1 「資料の種類」の雑誌に✓を入れる

→検索結果が雑誌のみなので早く探せます \ タイトルに教職課程と入力して雑誌にチェック/

検索画面

資料の種類 : 図書 雑誌 雑誌特集タイトル
 対象データベース : 本学所蔵 NACSIS目録
 タイトル : **教職課程**

2 詳細画面で読みたい巻号があるかを確認する

→全ての巻号がそろっているとは限りません!



詳細画面の所蔵巻号で42巻13号はあることがわかった。2016年は新着だから2階新着雑誌コーナーに行く!

検索画面

Z:雑誌 P:紀要

所蔵巻号 請求記号 所在 配架情報 所蔵年

1 4-21, 22(1, 3-5, 7-16), 23-41, 42(1-14)+	Z370/KYO-021	図書館	新着:2階新着雑誌 / バックナンバー:2階電動書架	1978-2016
--	--------------	-----	----------------------------	-----------

42(1-14):42巻1号から14号

新着:2016年発行
バックナンバー:2015年以前発行

3 請求記号と配架情報をメモして配架場所へ行く

→雑誌は請求記号順に並んでいます



Z370/KYO-021
新着:2階新着雑誌
バックナンバー:
2階電動書架

メモを持って2階新着雑誌コーナーZ370/KYO-021の場所へ行くと...

※配架情報は念のため新着とバックナンバーの両方をメモしておくことをおすすめします



あった!



♡ アイから広がる図書館づくり

図書館ピアの活動紹介!

今年度は14名の図書館ピア・サポーターが図書館ピアの理念・目的の実現を目指し、「研修」「フロアサポート」「ミーティング」「グループ活動」の4つを柱にピア・サポート活動に取り組んでいます。

図書館を利用される際に何か困ったこと、相談したいことがあれば、図書館ピア・サポーターにお気軽にお声かけください!

フロアサポート

授業期の11時から17時の間、図書館の各階フロアで利用者の皆さんの図書館利用をサポートしています。

ミーティング、グループ活動

仲間同士で協力し、ミーティングや、グループ活動としての「ピア・プロジェクト」「おすすめ本展示」を実施しています。

1. 資料検索補助



探している本が見つからない! 請求記号って何? OPACの使い方がわからない! など、資料検索で困ったら気軽に声をかけてください。ピアがあなたの力になりますよ!

2. 消しカス回収



利用者の方が図書館で快適に過ごせるように、机の上の消しカスを回収しています。消しカス入れはピアの手作りで、現在牛乳パック製のものにリニューアルしています。ぜひ活用ください!

1. ピア・ミーティング



毎月2回お昼の30分間、メンバー全員が集まりミーティングを行っています。フロアサポートでの気づき・疑問やピア・プロジェクトの進捗状況について情報共有をしています。

2. マナーアップキャンペーン (ピア・プロジェクト)



新しく2種類のポスターを作成し量コーナーに掲示・設置しています。より良い空間づくりのためにご協力をよろしくお願いいたします。

3. 用紙補充



図書館内のコピー機、オンデマンドプリンタ、2階のPCのプリンタの用紙補充を行っています。用紙が足りなくなった、印刷できないなど困ったことがあればご相談ください。

4. 書庫利用案内



探している本が書庫にある場合は2階カウンターで手続きをして書庫に入る必要があります。学生証と引き換えにピンク色の札をお渡ししますので、札を持って書庫へお入りください。

3. リーフレット発行 (ピア・プロジェクト)



『Library Peer Times』を発行しています。今年度第1号の内容は、メンバーの紹介、5月~7月のおすすめ本展示の紹介、図書館のマナーについてです。ぜひ手に取ってみてください。

4. おすすめ本展示



担当メンバーで決めたテーマに沿っておすすめの本を2階入館ゲート付近に展示し、POPを作成しています。3か月に違うテーマで展示を行いますので、毎回チェックしてみてください。

ピアにインタビュー!



現在活動中の図書館ピア・サポーターにインタビューしました!



すぎたりな 杉田里菜 人文学部人間関係学科社会学専攻 2年

- Q 図書館ピア・サポーターになろうと思った理由は?
- A もともと図書館で配架のアルバイトをしていて、職員さんに紹介されたのがきっかけです。1年生の時からピアの活動に興味があり、自分の好きな場所で他の学生の手助けをしたかったのが理由です。
- Q 図書館のお得な利用法は?
- A 私は資格の勉強をしているのですが、図書館にはいろいろな問題集が豊富に所蔵されているので、それらを買わずに繰り返し勉強することができます。また、2階電動書架付近の机は、人通りも少なく勉強に集中するには最適です!



かわぐち こうすけ 川口興祐 法学部法律学科 3年

- Q 図書館ピア・サポーターになろうと思った理由は?
- A 以前から図書館をよく利用し、図書館の良さを実感していました。普段図書館を使わない人にもその良さを知ってもらいたい、また人のためになることがしたいと思い、図書館ピア・サポーターに応募しました。
- Q 活動中に心がけていることは?
- A 利用者への対応をする時は、いつも笑顔で、優しく丁寧な話し方で対応するように心がけています。皆さん気軽に話しかけてくださいな。

きょう Kyouは何しに図書館へ?

- Q1 所属学部・学年
- Q2 ニックネーム
- Q3 何しに図書館へ?
- Q4 図書館にひとこと



- A1 商学部・1年
- A2 めい、ちなつ
- A3 情報処理の課題でWebテストをうけに来ました。
- A4 静かなので落ちつきます。



- A1 人文学部・3年
- A2 ちづ
- A3 ゼミの課題
- A4 いつも研究個室をよく利用させていただいています!



- A1 法学部・2年
- A2 さわちゃん、えりちゃん
- A3 キャリア形成の課題
- A4 とてもきれいで大好きです。



- A1 商学部・1年
- A2 かずちゃん、たいすけ、りんたろ
- A3 映画鑑賞
- A4 DVDを増やして



- A1 法学部・1年
- A2 だいびー
- A3 次の授業の予習
- A4 素敵な場所です!!



- A1 法学部・経済科学部・1年
- A2 スターサム、アントニオ、ルイルイ、エンペラー
- A3 夏休みの予定についてのミーティング
- A4 ファッション雑誌を増やしてほしい。



- A1 商学部・法学部・4年
- A2 まつや、しんどう
- A3 PCで課題をやりに来ました!
- A4 楽しく使わせていただいています!



- A1 人文学部・1年
- A2 さやか、はーりー
- A3 英字新聞を読みに来ました。
- A4 空きコマの居場所!!



- A1 法学部・4年
- A2 りょうこう
- A3 図書を借りに来ました。
- A4 貴重な資料、名作に触れられ感謝しております。



- A1 人間環境学部・3年
- A2 おーとうー
- A3 授業で使う資料を探しに来ました。
- A4 いつも使わせてもらってます!!利用しやすいです。



- A1 人文学部・3年
- A2 めぐ
- A3 図書館ピア・サポーターの活動
- A4 いっぱい話しかけて下さい!

撮影にご協力いただきました学生のみなさん、ありがとうございました。次回はあなたに突撃インタビュー!

みんなで楽しむ

はじめての読書会

図書館 × 図書館ピア

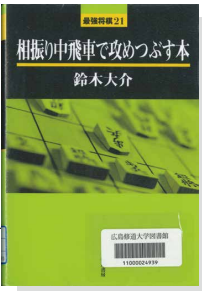
2016年6月29日に図書館ピア・サポーター主催の読書会が行われました。普段は一人でする読書を、ほかの誰かと本の楽しさを共有してもらおうと開催されました。当日、9名の参加者が紹介したい本を持って集まりました。最初に一人5分で本の紹介や思いなどを話し、その後、聞いていた皆さんから質問や本への思いなどを語り合いました。



紹介者 法学部1年 ほまだ なおや 浜田 直也

『相振り中飛車で攻めつぶす本』

鈴木大介著 / 浅川書房



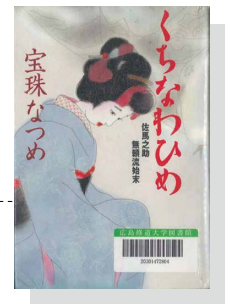
所 在 : 3階一般
請求記号 : 796/Su96

将棋は好きですか? 好き、ルールを知っている、存在を知っている。最初に言わせてもらおうと、この本を何となく借りる人はまずいないよね! 僕自身、この本を読むとは思いませんでした。元々違う本で将棋を知ったから。この本はハウツー本でしかないけれど、本って、手に取って、背表紙を撫でて、もう一度ワクワクの追体験をして、そんな風に使ってみて欲しい。一冊読んで終わらせるだけじゃない、読んだ後ほかに派生させていくと面白いよ。ぜひ一読ください。

紹介者 人文学部2年 さいとう みさき 齊藤 美咲

『くちなわひめ』

宝珠なつめ著 / 学習研究社



所 在 : 3階一般
請求記号 : 913.6/H81

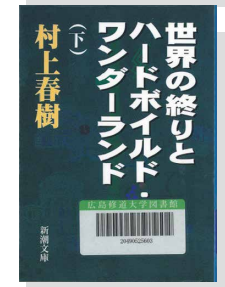
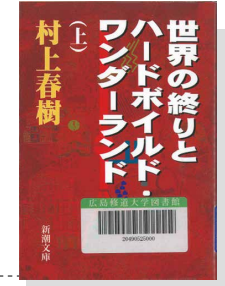
江戸の町で女たちが次々と無惨に殺される事件が起きる。殺された女たちにはまるで獣の爪で切り裂かれたかのような傷跡が残っていた。無類の酒好き、しかし剣の腕は確かな浪人侍左馬之助がこの事件に挑んでいく。剣を片手に彼が目にした事件の真相とは…。

左馬之助を主人公に他3作品が収録、いずれの話も読んでいて切ない内容ですが、作品の雰囲気はいたって明るく、最後まで楽しんで読むことができました。ぜひ一読ください。

紹介者 人文学部1年 なかひら みゆき 中平 美幸

『世界の終りとハードボイルド・ワンダーランド』

村上春樹著 / 新潮文庫



所 在 : 3階一般
請求記号 : 913.6/Mu43

私がこの本に出会ったのは中学生の時で、当時は読み終わっても謎が残りました。村上春樹さんの作品は独特な世界観があり、現実とファンタジーが重なった感じがします。この作品でも、2つの世界にそれぞれ僕という主人公がいて、2人共それぞれに不可解な体験をします。どちらの世界にも僕を支えそばにいてくれる女性がいます。最終的に2人の僕はどうなるのか、ぜひ読んで確かめてください。



今、展示コーナーが熱い🔥イベント3連続!

• Part1 •

ここから始まる Small Step!!

2016年4月1日～5月30日

新しい一歩が始まった新入生、在学生の皆さんが、最高のスタートがされるように役立つ図書をそろえました。同時に、「知識の扉」、「未来の扉」として、パスファインダーなどを収めた扉も隣接しました。お役に立てたなら光栄です。

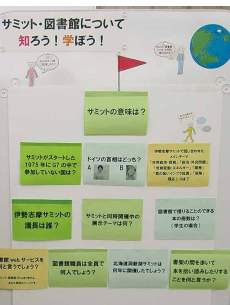


• Part2 •

借りYO読MO図書館DEプチサミット

2016年6月1日～9月15日

G7伊勢・志摩サミットが5月26、27日に行われました。これにちなみそれぞれの国の歴史、文化ならびに経済・社会情勢が学べる図書をそろえました。サミットクイズも実施しました。



• Part3 •

Change for peace ヒロシマで生きぬいて許す心

2016年6月1日～8月22日

5月27日に現職のアメリカ合衆国大統領として、オバマ大統領が被爆地広島を初訪問されました。それを受け資料を展示するとともに皆さんに鶴を折ってもらいました。皆さんの平和への祈りとともに8月18日『原爆の子の像』へ折り鶴を捧げてきました。鶴を折ってくださった皆さん、ありがとうございました。



書庫 1、2、3 層大移動しました

広島修道大学図書館では毎年約1万冊の図書が新たに加わっています。この度、満杯になった書庫の本を移動し、新しい本を迎え入れる準備が整いました。

入庫方法 → 2Fカウンターで手続きをする → 荷物をロッカーに預ける → エレベーターで階下の書庫へ

その際、OPACで調べた請求記号も忘れずに! (書庫は広いです!)

- ▶ 書庫3層・・・分類記号380～999.99
- ▶ 書庫2層・・・分類記号330～379.99
- ▶ 書庫1層・・・分類記号000～329.99



図書館オリジナルバッグできました

「図書館オリジナルのグッズを何かつろう!」と以前より案をねってききましたが、皆さんより、ご要望の多かったトートバッグを製作しました。

大学構内でも、もちろん街中でも使えるデザインに仕上がりました。大好きな本を詰めて読んで読書を楽しんでください。

このグッズは図書館のイベント参加者や、アンケート・取材に答えてくださった方に提供する予定です。



図書館の自由と利用者要求

人間環境学部准教授

まつかわ たいち
松川 太一



12

本学図書館2階、入館ゲート手前の掲示コーナーに「図書館は、基本的な人権のひとつとして知る自由をもつ国民に、資料と施設を提供することを、もっとも重要な任務とする」から始まる日本図書館協会の「図書館の自由に関する宣言」が掲げられている。

自由について、社会科学には逆説的な議論がある。アイザイア・バーリンは、自由を「積極的自由」(～への自由)と「消極的自由」(～からの自由)に分類し、積極的自由が個人の自由を否定する全体主義へと変化する危険性を指摘した(『自由論』)。エーリッヒ・フロムは、近代における自由の実現は不安感や孤独感を生み出し、自由を重荷と感ずることで権威主義へと変化する危険性を指摘した(『自由からの逃走』)。どちらも近代の理念である自由が、実際には意図せざる結果をもたらす可能性を指摘している。近代の自由や個人主義は自由を享受できる強い主体を前提としているが、実際の人間は主体としてそれほど強くないため全体主義や権威主義を招き寄せる。

では、図書館の自由は意図せざる結

果をもたらすのか。知る自由をもつ国民に資料と施設を提供する図書館の自由は「要求論」にもとづく図書館経営として実践された。要求論とは資料選択の基準を利用者の要求におく立場であり、公共図書館に顕著である。

要求論では、利用者の要求にどれだけこたえたかを測る指標として貸出冊数や利用者数を重視する。しかし要求された資料を提供するだけでは、本を読む人がひととおり来館した時点で貸出冊数や利用者数の増加は頭打ちになる。さらに数字を伸ばすには、本を読まない人にも来館してもらわねばならない。そのため場所としての図書館を充実させ、居心地の良さを提供するようにする。場所としての図書館の充実には、資料だけではなく場所に関する利用者の要求にもこたえようとする要求論のさらなる展開と言える。

要求論には批判もある。利用者の要求にそった資料選択に対しては、古くから「無料貸本屋」という批判があり、ベストセラーの複本購入について作家・出版社からの批判が続いている。利用者の要求にそった場所として図書

館を充実させる展開に対しては、それを推し進めた蔦屋書店とスターバックスを併設した武雄市図書館をはじめとするカルチャー・コンビニエンス・クラブが運営協力を実施・計画する公共図書館への批判や反対運動が起きている。

13

このように図書館の自由の実践を意図した要求論は、利用者の知る自由を保障する一方で、ベストセラーの複本購入やチェーンストア併設という結果をもたらした。この結果を全体主義や権威主義と呼ぶには無理があるが、利用者の要求から個性がみえず、近代の理念である自由や個人主義と折り合いが悪いという意味では図書館の自由の意図せざる結果であろう。

大学図書館は、学習・研究に必要な資料を保存し提供する役割が明確なため、公共図書館のような要求論に大きくもとづいた経営はしてこなかった。しかし学生という利用者から見た場合、大学図書館にも要求論はひろがりつつある。本学も例外ではなく、学生による資料選択の機会を増やし、滞在型図書館としてラウンジやラーニン

グ・コモンズを併設している。その結果、賛否はともかく、ベストセラーが貸出上位に入り、図書館の機能拡大によって専門職である司書の職業アイデンティティは拡散していく。

これからも要求論は大学図書館にひろがるだろう。その時、教職員が学生の要求を斟酌するのではなく、学生が適切な要求を出せるようになることが重要だ。自由の意図せざる結果の議論で確認したように、実際の人間は主体としてそれほど強くない。自由を実質的に享受するには、主体へのケアやサポートが必要である。学習する主体である学生に対しても同様だろう。

大学に対して「教育から学習へ」という変化を求める声大きい。この変化は、教育をやめるのではなく、学習する主体をつくる教育をめざすという意味であると私は受け取っている。しかし学生へのどのようなケアやサポートが効果的か、現場は暗中模索している。この暗闇から抜け出すために、教室とは異なる主体的な学習の場でありつづけてきた図書館の取り組みがヒントを与えてくれる気がしている。

図書館での思い出

図書館
ちかもと けいすけ
近本 圭介



図書館に異動して3か月が経過したが、今回初めて職員エッセイを執筆することとなった。最初どのような内容にするか決めるのに苦慮したが、他の職員からイギリスに留学していた時期の体験と絡めて書いたらと勧められた。もう20年近く前の留学経験なので、記憶もあいまいではあるが、その時の出来事を思い出しながら留学先の図書館について触れていきたい。

そもそも留学をする動機となったのは、高校時代からの英語圏に対するあこがれと、大学時代に周囲の友人が留学を決意し、実行しているのに、自分ができないことに対する反発からだと思う。大学時代は、留学できるほど金銭的な余裕がなく、アルバイトをしても、いつのまにか所持金が消えていくというありさまだった。就職して留学した友人といろいろ話をしていくうちに、若い時に留学した方がいいという思いから決意がついたのだろう。

授業は複数のビジネス系科目を同

時に進める形で、最後に修士論文の提出が控えていた。当初から、頻繁に3,000語から4,000語程度の課題を提出しなければいけなかった。授業内容についても、初めて学ぶ分野が多く、そのため、常にぎりぎりの課題提出というパターンが多かった。時には、課題の完成が提出当日の午前4時頃になることもあった。

留学先での生活は、始めはホームステイや、学生寮で生活していたのだが、生活費を浮かす目的から、クラスメートやその知り合いとフラットシェアを始めることになった。部屋は、2階にリビングとキッチン、3階にベッドルームが3部屋あった(1階は八百屋と雑貨店が入っていた)。そのうち一番大きいベッドルームを使用することができたが、他のシェアメイトと共同で使わなければならなかった。相談の結果、部屋の真ん中をダンスで仕切って、2部屋を無理やりこしらえた。フラットシェア自体居心地は悪くなかったが、

夕食を共同でつくったり、週末には決まって、多くの学生を呼んでパーティを開いたりという多忙な状態だった。さらに、課題の作成が佳境に入った深夜1時頃、兵役を終えた韓国のシェアメイトの陣頭指揮で、筋力トレーニングをやるのが日課となっていた。

そのような中で、課題を手際よく終わらせるためには、図書館は適切な環境であった。私が留学したリーズに位置する大学は、都市部にあるキャンパスと郊外にあるキャンパスとに分かれていた。そのうち、自分たちが住んでいたフラットが郊外のキャンパスから歩いて15分程の位置にあった関係で、授業終了後から料理の支度時間まで(時には深夜まで)図書館を利用していた。キャンパスには、広大な芝生がひろがっていて、大小の19世紀に建てられた校舎が点在し、その中で一番巨大な建物の中に図書館があった。建物の内部は、廊下や講義室がぐるりととり囲んでおり、その内側

に図書館があるという造りであった。図書館のある建物は3層構造となっていて、他に大小の講義室と巨大なコンピュータールームを備えていた。課題提出の際は、コンピュータールームで、インターネットを活用したり、OPACのような検索システムを利用して、関連図書を検索したりした。グループワークの時には、各自担当して図書館から参考図書を借りて、現地に住むグループワークのメンバーの家に集まって、プレゼンテーションの作成に徹夜で取りかかったりした。

優雅な留學生活とは程遠いもので、常に追い詰められた状態で文献を探ることが多かったが、図書館の持つ静寂な環境のおかげで、留学先で知り合った学生たちとの出会い同様、図書館での思い出は、自分にとって大切な時間を提供してくれたと思う。

